

民主島根

2024年
6.2
第1449号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

中国ブロックいっせい宣伝 島根原発の再稼働認めない

松江 尾村県議、村穂氏らが商店街前で宣伝

日本共産党の中国ブロックいっせい宣伝が5月17日行われ、松江市では尾村利成、大国陽介の両県議、村穂江利子県副委員長、向田聡東部地区委員長、舟木健治、橘ふみ両市議らが商店街前で訴えました。

尾村氏は党が実施した能登半島調査（5月13〜15日）で、最大震度7を観測し甚大な被害を受けた町立病院長から「地震と津波だけでも大変だった。もし志賀原発で事故が発生していたら大変なことになっていた」と語られたことを紹介。「地震は止められないが、原発は止めることができる。島根原発2号機の再稼働（12月予定）は認められない」と強調しました。



宣伝する(右から)向田、大国、尾村、村穂、橘、舟木の各氏(松江市)



島根半島 臨時ヘリポート適地を視察 党県議団、村穂・亀谷氏ら

日本共産党の尾村利成、大国陽介の両県議は5月27日、能登半島地震を受けて県が半島防災を強化するために実施した島根半島の臨時ヘリポート適地を視察・調査しました。(写真)

村穂氏は裏金事件、経済無策、大軍拡の岸田政権に一刻たりとも日本の政治の舵取りを任せられないと批判し、「国民の命と平和憲法を守り生かす新しい政治をつくりましょう」と呼びかけました。



宣伝する(右から)向田、大国、尾村、村穂、橘、舟木の各氏(松江市)

民青 食費を削って生活していた 島大医学部付近で食料支援

日本民主青年同盟島根県委員会は5月26日、出雲市の島根大学医学部近くの施設で食料支援「ハッピーフードプロジェクト」に取り組みました。(写真)

会場を訪れた大学1年の学生は「食費を削るためにあまり食べられないようにしたら体調が悪くなった。栄養バランスよく食べることの大事さに気付いた」と語り、食料品や日用品を袋いっぱい詰めていました。

日本共産党街頭演説

7月7日(日) 14:00~松江・県庁前
16:00~出雲ラピタ本店前

弁士
参院議員/党副委員長
山下 よしき
ぜひお越しください
<私たちもお話します>

元衆院議員
党県副委員長
衆院島根2区予定候補

大平 よしのぶ
むらほ えりこ
亀谷 ゆう子

地へのボランティア活動に興味があります」などの声寄せられました。取り組んだ同盟員は「長引く物価高騰が学生生活にも影響を及ぼしていることを改めて痛感した。一緒に学費の引き下げや憲法を守る活動がで



島根県は災害時に発着できるヘリポートの適地調査を今年3月に実施。大型や中型ヘリが発着できる候補地として、災害時臨時ヘリポートに指定している31カ所を含め約70カ所を適地としています。

出雲・伊野地区「避難できる環境を」 党県議団、市議団ら関係者と懇談

日本共産党の尾村利成、大国陽介の両県議、後藤由美、吉井安見の両出雲市議らは5月7日、島根半島部の出雲市地合町(伊野地区)を訪れ、

は「能登半島地震では、志賀原発30km圏内の14地区で154人が孤立した。地震・津波などの自然災害と原発事故が同時に起きる複合災害に備え、住民の命と安全を守る防災対策の抜本的強化が求められる」と語りました。

別の男性は、伊野地区で一人ひとりの防災意識を高める活動の重要性を強調し、「大地震が発生した場合でも、いざという時には避難できる環境をお願いしたい」と要望しました。

5月10日には、松江市旧島根町の関係住民から聞き取り調査を実施しました。